

# がん化学療法処方

プロトコール名: DLBCL Pola-R-CHP療法(C2-6)(1クール21日)  
(下に実際の投与方法を記載)

投与日	薬品名	投与経路	投与時間
d1	① パロノセトロン静注0.75mg+プレドニン注100mg + 生理食塩液50mL	div	15分
	② 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	③ リツキシマブBS点滴静注 375mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液 点滴開始30分前にカロナール錠200mg 2錠、レスタミンコーワ錠10mg5錠内服 <初回投与> 最終濃度1mg/mLになるように調製 投与速度50mL/hで開始し、30分毎に50mL/hずつ増量(最大400mL/h) <2回目以降> 最終濃度1mg/mLになるように調製 投与速度100mL/hで開始し、30分毎に100mL/hずつ増量(最大400mL/h) <2回目以降で臨床的に重篤な心疾患がなく、 初回投与時に発現した副作用が軽微であり、 かつ投与前の末梢血リンパ球数が5,000/μL未満の場合> 総液量250mLになるように調製 希釈濃度は1~4mg/mL 投与速度100mL/hで開始し、30分後に200mL/hに増量。	div	**
	④ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑤ ポライビ点滴静注用 1.8mg/kg + 生理食塩液100mL 点滴静注用30mg: 注射用水1.8mL、 点滴静注用140mg: 注射用水7.2mLで溶解 溶解後の濃度は20mg/mL 希釈後の濃度は0.72~2.70mg/mLとなるようにすること 初回は90分で投与し、2回目以降は忍容性が良好であれば30分で投与可 投与時は0.2又は0.22 μ mインラインフィルターを使用 調製後4時間以内に投与終了	div	30分
	⑥ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
	⑦ ドキソルピシン塩酸塩注射用 50mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液100mL	div	30分
	⑧ エンドキサン注 750mg/m <sup>2</sup> + 生理食塩液250mL	div	90分
	⑨ 生理食塩液 50mL(フラッシュ用)	div	5分
d1	カロナール錠200mg 2錠 レスタミンコーワ錠10mg5錠 リツキシマブ投与30分前に内服	p.o.	
d2-5	① プレドニン 100mg/body 1日1回朝食後	p.o.	

プロトコール適応時表示コメント

d1-5:PSL100mg/d投与。  
RTX投与30分前にカロナール400mg、レスタミン50mg内服。

照射併用時照射線量

グレイ (備考欄)